

明日をひらく絵画

第38回 上野の森美術館大賞展

2020年4月29日(水・祝)ー5月10日(日)

時間 午前10時ー午後5時(入場時間は閉館30分前まで)

入場料 一般600(500)円、大学生400(300)円、高校生以下無料

※ ()内20名以上団体料金

※ 障がい者とその付き添いの方1名は無料、入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

※ 上野の森美術館友の会会員証で入場できます。

第38回となる「上野の森美術館大賞展」は、1,012点(768名)の応募があり、赤塚祐二、大友義博、佐藤哲、土屋禮一、西田俊英、保科豊巳、宮いつき、水野政一(審査委員各氏)により、2月26日(水)・27日(木)の2日間で選考が行われました。

結果、今年の入選作品は140点(140名)、その中から〈絵画大賞〉春日佳歩さん、〈優秀賞〉石井奏子さん、生地みのりさん、長濱俊之さん、藤原早苗さんらの受賞が決定しました。

なお、昨年の受賞者の新作などを展示する「入賞者展」を同時開催します。本館とあわせてご覧ください。

〔同時開催〕 第37回上野の森美術館大賞展入賞者展

上野の森美術館ギャラリー 入場無料

〔巡回展〕 関西展

京都文化博物館 <http://www.bunpaku.or.jp>

2020年6月16日(火)ー6月21日(日)

午前10時ー午後6時 会期中無休



上野の森美術館絵画大賞 春日佳歩 《惨くて、美味しくて、》 油彩 F100

〔公募〕

第33回日本の自然を描く展

搬入受付 2020年5月12日(火)、13日(水) 午前10時ー午後5時

搬入場所 上野の森美術館 台東区上野公園1-2

展覧会会期 2020年9月11日(金)ー9月30日(水)

art



アートの森
公益財団法人日本美術協会報2020年春号
上野の森美術館

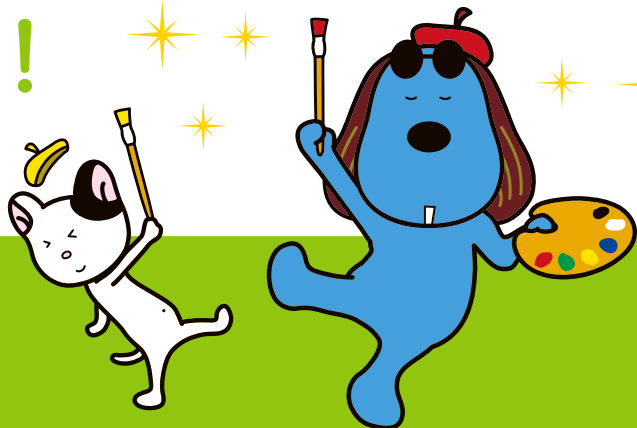
no. 63

2020 Spring



VOCA賞 Nerhol 《Remove》

さあ、
新しい時代を
描こう！



上野の森美術館

アートの森／第63号

2020年3月14日発行

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2 お問い合わせ：TEL.03-3833-4191

発行：(公財)日本美術協会 TEL.03-5832-6464 URL: <https://www.praemiumimperiale.org>
上野の森美術館 TEL.03-3833-4191 URL: <http://ueno-mori.org>

デザイン：モノクラフト
印刷：サンケイ総合印刷

VOCA展2020 The Vision of Contemporary Art

現代美術の展望—新しい平面の作家たち

3月12日(木)ー30日(月)

午前10時ー午後6時(入館は30分前まで)会期中無休

主催 「VOCA展」実行委員会
公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館
特別協賛 第一生命保険株式会社

VOCA展は絵画や写真など平面美術の領域で高い将来性のある40才以下の作家を奨励する展覧会で、今年で27回目の開催を迎えます。

「VOCA展2020」には、全国の美術館学芸員、キュレーター、研究者などから推薦された作家33名(組)が出品します。このなかから5名の選考委員によりVOCA賞1名、奨励賞2名、佳作賞2名が選ばれました。そして大原美術館賞が館の選考により決定しました。

今回のVOCAも多様な技法・メディアによる意欲作が集まりました。なかでも受賞作品には写真技法を使ったものが多く見られ、そこに作家独自の創意と手法が加わって、それぞれのメッセージを発しています。

VOCA賞を受賞したNerholは、グラフィックデザイナーの田中義久と彫刻家の飯田竜太によるアーティストデュオで、田中氏が作品のアイデアを「練る」、飯田氏が作品を「彫る」という共同作業により制作しています。



VOCA奨励賞 菅実花 《A Happy Birthday》

「VOCA展2020」選考委員
小勝禮子(美術史・美術批評)
光田由里(DIC川村記念美術館学芸部マネジャー)
柳沢秀行(大原美術館学芸課長)
水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)
家村珠代(多摩美術大学教授)

本作《Remove》(表紙)は、インターネット上で見つけた動画を150枚ほどの連続写真にしてプリントした紙を重ね、それをダイナミックに彫り込んだものです。画中の3人の男性が何をしている場面なのか、すぐには見当が付きませんが、もとにした動画は1969年のアメリカの宇宙飛行士の重力を除去する実験の記録映像だそうです。積み重ねられた写真が彫り込まれ、画面が波のように大きくうねることにより時間と動きが生まれています。まさに宇宙飛行士が体験するような歪んだ時空へと飲み込まれていく気がします。

菅実花の《A Happy Birthday》は、一見よくある記念写真のように見えますが、じつは2人の女性のうち片方は作者本人、もう片方は自身の頭部を型取りして制作した人形であり、両者が対になるポーズをとって並んで撮影したものです。いったんそれを知ってから見ると、この作品に潜んでいた不気味さが前面に現れ、解釈のしかたも複雑になるのではないのでしょうか。

李晶玉の《Olympia 2020》は、1936年のベルリンオリンピックに題材をとった作品です。壮大なスタジアムはデジタルプリントで、女性が着る体操着や空に浮かぶ雲の部分は手描きの線描によって表され、史実とヴァーチャルの世界が重なり合うイメージを見事に構築しています。

気鋭の作家たちが「平面」という枠組みのなかで、現在なにをテーマにそれぞれの表現を切り開いているのか、ぜひご覧ください。

[後記]

ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染防止のため、全国各地の多くの美術館や博物館などの施設が3月中旬までの休館に踏み切るという異例の事態を迎えました。

当館もVOCA展に関連して予定していたシンポジウムやトークイベントなどの一部を中止としましたが、展覧会および併催の石川順恵展は現在のところ会期どおり開催する予定で準備を進めています。

こうしたときにこそ、平常と同じ文化活動の継続に努めることも美術館・博物館の役割であると考えます。開館に備えて空調、安全管理などの対策を講じ、できるかぎり環境を整えてお迎えしたいと思います。

(2020年3月5日 上野の森美術館 学芸員 坂元暁美)



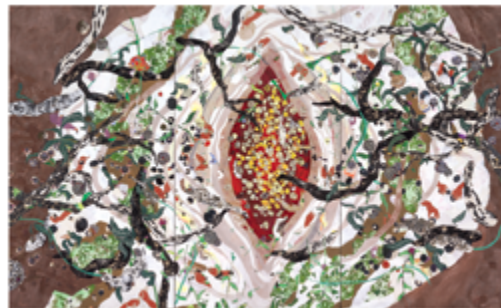
VOCA奨励賞 李晶玉 《Olympia 2020》



佳作賞 黒宮菜菜 《Imageー終わりし道の標へ》



佳作賞 宮本華子 《白が消えていく。ーMein Tagebuchー》



大原美術館賞 浅野友理子《くちあけ》

関連イベント

シンポジウム 「VOCA展2020を語る」 中止

日時 3月11日(水) 午後3時ー5時
パネリスト 小勝禮子(「VOCA2020」選考委員長)、光田由里、柳沢秀行、水沢勉、家村珠代(*「VOCA2020」選考委員)
Nerhol(田中義久・飯田竜太)(VOCA賞)、菅実花(VOCA奨励賞)、李晶玉(VOCA奨励賞)、黒宮菜菜(VOCA佳作賞)、宮本華子(VOCA佳作賞)、浅野友理子(大原美術館賞) ※敬称略

アーティスト・トーク

3月14日(土) 午後3時ー4時 中止
浅野友理子(大原美術館賞)、黒宮菜菜(VOCA佳作賞)、宮本華子(VOCA佳作賞)
3月21日(土) 午後3時ー4時
Nerhol(VOCA賞)、菅実花(VOCA奨励賞)、李晶玉(VOCA奨励賞)

学芸員によるギャラリートーク

3月15日(日) 中止
3月22日(日) 午後3時ー4時

東京・春・音楽祭 「ミュージアム・コンサートー現代美術と音楽が会おうと」
3月18日(水) 午後7時ー篠崎和子(ハープ)
3月26日(木) 午後7時ー安達真理(ヴィオラ)
※詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.tokyo-harusai.com>

3月28日(土)「美術館で聴く子どものためのクラシック」 中止

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止にしたイベントについてはマークを記載しました。

同時開催 1

石川順恵展 上野の森美術館ギャラリー
3月12日(水)ー3月30日(月)

石川順恵は1980年代末から発表を始め、現在まで一貫して「絵画の構造」をテーマに、さまざまな色や形態、線を重ね合わせたスケールの大きい抽象画を探索してきました。1995年と1999年のVOCA展で奨励賞を受賞。本展では、石川が近年続けている〈Impermanence(非永続性)〉と題したシリーズから新作6点を発表します。さらに深化した知的な画面構成は見る者を豊かな絵画体験へと誘うでしょう。



《Impermanence 花菜風》 2019
アクリル、砂、カンヴァス 290×195.5cm

同時開催 2

「Japanesque !」 第一生命ギャラリー

3月2日(月)ー4月10日(金)
午後12時ー5時(金曜は午後7時まで)
※3月3日(火)ー3月11日(水)は臨時休館

青木恵美子、碓井ゆい、大小島真木、幸田千依、鈴木星亜、東城信之介、平子雄一などVOCA作家の受賞作品や近作・新作を展示します。

VOCA受賞作家展「TOKYO☆VOCA」 第一生命ロビー
2020年3月2日(月)ー12月30日(水) 午前8ー午後8時

第一生命ギャラリー&ロビー (千代田区有楽町1-13-1)